

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

所管課		生涯学習課		担当班	社会教育施設班
事務事業名	コード	41300 干潟公民館管理費	予算科目	会計 一般	款 10 項 4 目 7
基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	社会教育法、旭市民館の設置及び管理に関する条例、規則	
施策の展開	24	生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125 各施設の整備充実	
施策の展開			戦略事業		
					事業種別 ☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 49 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	地域における生涯学習活動を担う施設として、施設の維持管理及び運営を行う。 また、市民が新しい知識を得たり、さまざまな体験をし、健やかな生涯を過ごすための学習の場、交流の場として情報の提供を行い、各種講座教室の開催をする。 【開館時間】9時～17時。但し、夜間利用がある場合は21時まで開館。【閉館日】月曜、祝日、年末年始 【館内施設】大ホール、会議室4、和室4、調理実習室1、図書室1
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
平成17年に1市3町が合併し、今まで当該公民館としては、主催事業及び学級講座については実施していなかったが、合併前の他市町公民館等との均衡を図るため実施することとなったものである。	施設・設備の老朽化が深刻な問題となっており、建物本体については建築基準法に基づく定期報告により多くの指摘事項があげられ、設備についても保守点検などにおいて多くの指摘事項が生じている。・耐震診断未実施
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
施設利用者から施設・設備の改善についての要望が多い。 (雨天時のペランダの浸水や雨漏り、空調がほとんど効かない部屋がある、3階ホールの音響設備の改善等)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.賃金	2,008	臨時雇賃金	705	1,018	1,987	2,008	3,111
2.需用費	2,799	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	3,639	2,958	2,841	2,799	2,788
3.役務費	646	通信運搬費、手数料、保険料	647	668	612	646	621
4.委託料	2,247	受付業務委託料、エレベーター等保守点検委託料等	4,549	4,433	2,116	2,247	2,435
5.その他	674	放送受信料、賃借料、改修工事費、備品費等	636	666	1,081	674	1,120
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)	10,176	9,743	8,637	8,374	10,075
1.国庫支出金	0	1.国庫支出金	千円				
2.都道府県支出金	0	2.都道府県支出金	千円				
3.地方債	0	3.地方債	千円				
4.その他	229	4.その他	千円	22	87	260	229
		5.一般財源	千円	10,154	9,656	8,377	8,145
前年度増減理由	公民館改修工事が無かったため減額						
従事職員数	常時	2人	最大	人	×	日	= 延べ 0人

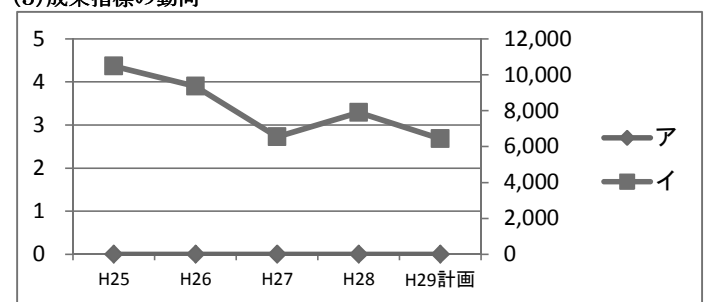
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・施設の維持、管理 ・貸館業務、図書の貸出し		ア 修繕件数	件	1	3	5	10	0
			イ 貸館件数	件	619	473	366	328	364
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 ・市民 意図 ・利用者が安全、快適に施設を利用できる。 対象意図		ア 施設に関する苦情件数	件	0	0	0	0	0
			イ 延べ利用者人数	人	10,488	9,350	6,548	7,890	6,436

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	かなりある ある程度ある ほとんどない	評価結果	コスト比率	下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい			①		
普通			②		
			③		
小さい			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		(10)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	施設の展望が決まっていないが、取り壊しが検討されているため、必要不可欠な修繕を行えない状況にある。				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)				数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐	成果動向 ア 0 イ 557 △1,138 △2,802 1,342 △1,454
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☒ その他(目標変更)	
	平成29年度中	・個別施設計画の策定に向け準備を行う。		平成29年度以降	他施設への移行を計画、推進する。	